

# 環境報告書2012

東港金属株式会社



110<sup>th</sup>  
Anniversary since 1902

**Toko Metal**  
Multi Material Recycler

# 東港金属株式会社は 創業110周年を迎えました。



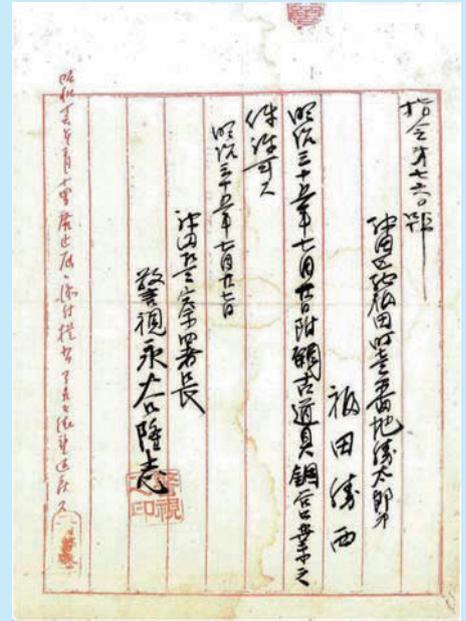
私ども「東港金属株式会社」は、平成24年7月20日をもちまして創業110周年を迎えることができました。創業者で初代社長の福田勝西が、明治35年7月20日に神田西警察署に古物商の申請をいたしましてから、110年という時間が流れました。

時は第一次桂内閣の時代で「戦艦三笠」が横須賀で竣工された年です。

その後移転し、合併や社名の変更などを行い平成9年に今の「東港金属株式会社」の形となりました。

銅、真鍮という非鉄金属の間屋からスタートした当社は、創業以来、先輩方に培っていただいた精神が今の世代に受け継がれ、工場内に流れております。

当社が110年も続いていることは、ひとえにお客様のおかげと感慨深く、心から感謝申し上げます。



伸銅製品重量票内の広告

創業時の古物商許可証



初代社長 福田勝西



二代目社長 福田庸一



三代目社長 福田勝年





## ごあいさつ

### 循環型社会形成に向けた、総合リサイクラーとして



2012年11月

代表取締役 **福田 隆**

#### 感謝の気持ちでいっぱいです

平成24年7月20日、東港金属株式会社は創業110周年を迎えることが出来ました。明治35年、創業者福田勝西が神田警察署に古物商の申請をし、銅、真鍮という非鉄金属の間屋として開業してから、いくつかの時代の変化をくぐり抜けて参りました。そして、最近のリーマンショック時には当社の先行きを心配し、東日本大震災時には復興を祈念しながら事業を進めております。

明治・大正・昭和・平成と1世紀を超えてこの事業を続けることが出来たのは、お客様をはじめ多くのステークホルダーの皆様からのご指導・ご協力をいただいたお陰と感謝し、心から御礼申し上げます。

#### 東日本大震災について

昨年3月11日の東日本大震災から1年半以上が過ぎました。未曾有の震災による瓦礫の山は、未だ被災地の街中に積まれています。国が一つになって取り組まなくてはならない瓦礫処理は、原発事故による放射能漏れが大きな妨げとなり、予定通りに進んでいません。制度上、当社は瓦礫の処理は出来ておりませんが、出来る限りのお手伝いを今後も続けて参ります。

#### 循環型社会形成に向けて産廃処理業者としての努力

年々、世界のあらゆる自然環境が破壊されつつあります。地球の今の環境をいかにして保持し、次世代に引き継いでゆくかを考えるとき、静脈産業界が英知を絞って具体的なアクションを取っていかねばならない時だと思っております。当社も本年の創業110周年を一里塚として、資源の効率的な利用に資するリサイクラーとしての責務を果たすことに重点を置いてゆく所存です。当社では毎年リサイクル率の目標を見直しておりますが、今年度は、各工程の社員それぞれが持ち場で「改善意識」を持ち、廃棄物の中から再資源化できるものを更に探し出し、リサイクル率UPにつなげる運動を進めて効果を出しております。

また、リサイクルを推進するためには、お客様から信頼され、安心していただくことが第一であると考えております。適正処理、再資源化及び環境に与える負荷の少ない取り組みの実施など、一定の基準をクリアした優良な産業廃棄物処理業者を認定する、第三者評価制度である産廃エキスパート（東京都優良性基準適合制度）の認定を受けております。また、廃棄物処理法に基づく優良産廃処理業者認定制度の審査を受け、現在認定申請中の県もございまして、許可をいただいているほとんどの都・県より優良産廃業者の認定を受けることが出来ました。その当社の取り組み状況は、当社HPや公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団の産廃情報ネットでご確認いただけます。

今後も「もったいない」は「物」だけではなく、ステークホルダーの皆様から安心してご協力いただける「心」をも「もったいない」と有難く感謝しながら、都市型総合リサイクラーとしての努力を続けて参ります。

## 経営理念

お客様のお役に立つ、世界最高のリサイクルを追求し、お客様と共に会社・従業員が発展繁栄する。

**すぐやる**  
**【情熱・熱意・執念】で 必ずやる**  
**出来るまでやる**

すなわち「熱い気持ちで仕事に打ち込み、目標達成までやりとげる」ことを基本として、何事も「すぐやる、必ずやる、出来るまでやる」という実践をしていきます



# 沿革

- 1902年(明治35年) 創業者福田勝西が東京市神田に伸銅品と非鉄金属の間屋を開業、終戦後、店を芝金杉に移転
- 1947年(昭和22年) 会社組織にし、製品の問屋業を株式会社福田地銅店が、地金の問屋業を東港金属が扱うことになる
- 1960年(昭和35年) 東京精錬株式会社を設立、銅合金の精錬及びインゴット製造を行う
- 1978年(昭和53年) 東京精錬株式会社を東京銅合金工業株式会社と商号変更
- 1994年(平成6年) 電線リサイクル処理(ナゲット)プラントを導入、本社工場に設置  
産業廃棄物収集運搬業の許可を取得  
産業廃棄物中間処理業の許可を取得(切断・破碎)
- 1997年(平成9年) 精錬部門と営業部門が一体化し、東港金属株式会社が東京銅合金株式会社を吸収合併する
- 2001年(平成13年) 家電リサイクル法に基づき指定引取場所となる
- 2002年(平成14年) 東京都とエコトライ協定を締結
- 2003年(平成15年) 家電リサイクル指定引取場所及びスクラップ取り扱い増を目的とした本社第二ヤードを開設
- 2006年(平成18年) 本社および京浜島工場で、EMS(ISO14001)認証取得
- 2007年(平成19年) 東京都港区芝に東京事務所を開設し、営業部門及び事務部門の一部を移転  
千葉県富津市に千葉工場を開設
- 2008年(平成20年) 本社第三ヤードを開設
- 2009年(平成21年) 千葉工場が産業廃棄物中間処理業の許可取得  
本社・本社工場、千葉工場、東京事務所で、ISMS(ISO27001)を認証取得  
千葉工場をEMS(ISO14001)認証範囲に拡大登録
- 2010年(平成22年) 東京都 産廃エキスパート取得  
本社事務所を新事務棟に移転  
非鉄金属製品の加工販売を行う株式会社メタルポート天童支店を譲り受け、東港金属天童支店として開設  
本社工場に産廃選別ライン導入  
家電リサイクル法の指定引取場所を閉鎖
- 2011年(平成23年) 東京都 産廃エキスパート認定更新
- 2012年(平成24年) 静岡県、栃木県、神奈川県、東京都、千葉県、茨城県で産業廃棄物収集運搬業の優良確認認定及び、  
東京都で産業廃棄物処分業の優良確認認定  
創業110周年を迎える。  
東京都品川区南大井に東京事業所移転

## ■編集方針

東港金属株式会社は、当社の環境に関する考え方と取組姿勢を中心とした業務内容そのままを、定期的に報告することにより、ステークホルダーの皆様の良きリサイクルパートナーとして、事業活動の透明性、信頼性を評価、ご理解いただきたく、環境報告書を作成いたしております。お気づきになりましたことなど、ご指摘ご指導賜りたくお願い申し上げます。

### ◆環境報告書対象組織・期間

この環境報告書は、東港金属株式会社(本社・本社工場、千葉工場、東京事務所、天童支店)と、協力会社トライマテリアル株式会社 本社営業所を範囲としました。

#### ●対象期間

当社の第67期(2011年7月~2012年6月)をまとめたものです。但し、報告内容には一部第68期の内容を含みます。

#### ●準拠、参考ガイドライン

この環境報告書は、環境省「環境報告書ガイドライン(2012年版)」を参考にして作成いたしました。

#### ●発行 2012年11月

### 【お問い合わせ先】

東港金属株式会社 経営企画室  
〒140-0013 東京都品川区南大井6-17-17 FINEビル2F  
TEL:03-5767-8860(代) FAX:03-5767-8870  
ホームページ <http://www.tokometal.co.jp/>

## — 目次 —

・東港金属株式会社は、110周年を迎えました	1
・ごあいさつ	2
・沿革／編集方針／目次	3
・東港金属株式会社について	4
・環境方針	5
・事業活動における環境負荷の全体像	6
・マネジメント体制	9
・リサイクルフロー	11
・教育・コミュニケーション	14
・環境への取り組み	17
・協力会社の活動	19
・法的及びその他の要求事項と取り組み	21
・ガイドライン対照表	22

当社では、2007年より【環境報告書】を作成しております。

### 環境報告書

2007年	<a href="http://www.tokometal.co.jp/ems-isms/env-report/2007.pdf">http://www.tokometal.co.jp/ems-isms/env-report/2007.pdf</a>
2008年	<a href="http://www.tokometal.co.jp/ems-isms/env-report/2008.pdf">http://www.tokometal.co.jp/ems-isms/env-report/2008.pdf</a>
2009年	<a href="http://www.tokometal.co.jp/ems-isms/env-report/2009.pdf">http://www.tokometal.co.jp/ems-isms/env-report/2009.pdf</a>
2010年	<a href="http://www.tokometal.co.jp/ems-isms/env-report/2010.pdf">http://www.tokometal.co.jp/ems-isms/env-report/2010.pdf</a>
2011年	<a href="http://www.tokometal.co.jp/ems-isms/env-report/2011.pdf">http://www.tokometal.co.jp/ems-isms/env-report/2011.pdf</a>
2012年	<a href="http://www.tokometal.co.jp/ems-isms/env-report/2012.pdf">http://www.tokometal.co.jp/ems-isms/env-report/2012.pdf</a>



# 東港金属株式会社について

## ■会社概要

社名 東港金属株式会社 Toko Metal co.,Ltd.  
 代表者 代表取締役社長 福田 隆  
 創業 1902年(明治35年)7月  
 資本金 1億円  
 従業員数 97名(2012年6月現在)  
 年商 60億円(2012年6月期)  
 事業所 本社、本社工場、千葉工場、東京事務所、天童支店  
 協力会社 トライマテリアル株式会社

## ■許可・認定

- ◆古物商
- ◆産業廃棄物中間処理許可  
【東京都\* 第13-20-018874号】  
【千葉県 第01220018874号】
- ◆産業廃棄物収集運搬及び積替・保管許可  
【東京都\* 第13-10-018874号】
- ◆産業廃棄物収集運搬許可  
神奈川県\*、埼玉県、千葉県\*、静岡県\*、栃木県\*、茨城県\*、岩手県、郡山市  
※優良産廃処理業者認定制度での優良認定
- ◆東京都 産廃エキスパート認定
- ◆第1種フロン類回収業登録
- ◆ISO27001認証 本社・本社工場、千葉工場、東京事務所
- ◆ISO14001認証 本社・本社工場、千葉工場、  
トライマテリアル(株)本社営業所

## ■事業所ロケーション

**天童支店**  
 〒994-0016  
 山形県天童市東久野本 3-2-32  
 TEL: 023-654-3358 (代)  
 FAX: 023-653-4770



金属製品販売サイト

### 東京事業所

〒140-0013  
 東京都品川区南大井 6-17-17  
 FINEビル2F  
 TEL: 03-5767-8860 (代)  
 FAX: 03-5767-8870

営業部門サイト



### 本社 / 本社工場

〒143-0003  
 東京都大田区京浜島 2-20-4  
 TEL: 03-3790-1751 (代)  
 FAX: 03-3790-1755

本社機能と都内立地の条件を活かした小回りの利くリサイクルプラント



### 千葉工場

〒293-0011  
 千葉県富津市新富 52-1  
 TEL: 0439-80-4545 (代)  
 FAX: 0439-80-4646

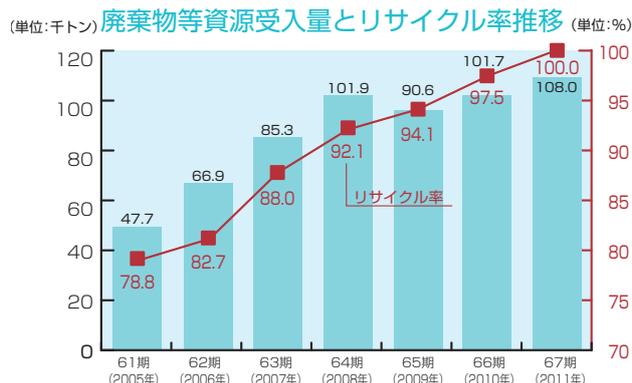
1千馬力のシュレッターを導入した大型処理プラント



## ■事業概要

- ◆金属スクラップ全般に関する業務(国内/輸出入)
- ◆プラスチックの各種リサイクル
- ◆産業廃棄物の収集、運搬及び中間処理業、リサイクル
- ◆その他

## ■売上・受入れ量・リサイクル率の実績





## 環境方針

東港金属株式会社は、資源循環型社会の一翼を担う金属加工処理ならびに産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等事業を通じて環境負荷の少ないリサイクルに正面から取り組み、社会に貢献できる企業を目指し、従業員が一丸となり環境保全を実施し、地球環境保全のために尽くします。

1. 当社の事業活動、製品及びサービスに係る環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 当社の環境側面に関係して環境保全水準の向上を図るために自主基準を設け、決めた要求事項を順守します。
3. 当社が行う事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響の中で、以下の項目について重点テーマとして改善活動を推進します。

### 重点テーマ

- (1) 取扱商品の入荷量を拡大することにより、資源のリサイクル率向上を目指し天然資源の枯渇の抑制に貢献するとともに、最終処分量の削減に努めます。
- (2) 千葉工場のシュレッダー業務の効率化を図り、処理量拡大を図ります。
- (3) 各種車輛、重機などに使用する燃料の削減を図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇の抑制に努めます。
- (4) 工場内のプラント設備、事務所の照明・空調等に使用する電力使用量の削減を図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇抑制に努めます。
- (5) 資源の有効活用のため、コピー用紙使用量の削減に努めます。

2012年7月1日  
東港金属株式会社  
代表取締役 福田 隆

## バリューチェーンにおける環境配慮等の取組み

当社の事業活動におけるバリューチェーンに係る全ての環境に対する影響を把握し、その中で環境負荷の大きなものを環境方針の重点テーマとして改善を図っております。

### 当社のバリューチェーン





# 事業活動における環境負荷の全体像

## マテリアルバランス報告

当事業においては、常に資源のリサイクル率や、再資源化の向上を図るための活動を行いますが、一方、活動における環境負荷として、電力や燃料などの各種エネルギーの消費に伴う温室効果ガスの排出があります。作業効率の向上や工程改善をすることで、環境影響を低減させる努力を続けて参ります。第67期（2011年7月～2012年6月）の主な環境負荷は以下の通りです。

### INPUT

お客様からの  
資源受入量 ※1  
**107,979 t**



本社工場

千葉工場

※2  
社内エネルギー投入量

電力   
**2,972,032 kWh**

軽油   
**557,236 l**

ガソリン   
**21,255 l**

ガス   
**1,611 m<sup>3</sup>**

灯油   
**5,202 l**

用水(上水)   
**5,600 m<sup>3</sup>**

### OUTPUT

有価物  
金属類、プラスチック類、  
その他  
**73,908 t**   
(年度末在庫含む)

再資源化  
金属類、プラスチック類、  
その他  
**34,071 t**

最終処分場  
埋立   
**0 t**  
(埋立場へ直接搬入分)

大気への  
二酸化炭素排出量   
**2,618.592 tCO<sub>2</sub>**

用水排出量   
**5,600 m<sup>3</sup>**

二酸化炭素排出量計算根拠:

温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer.3.3 (平成24年5月 環境省・経済産業省発行)よりCO<sub>2</sub>排出量(tCO<sub>2</sub>)算出計算式を用いました。但し、電力については「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度のホームページ」から平成24年7月13日一部追加の「電気事業者別のCO<sub>2</sub>排出係数(2010年度実績)」を採用。用水については東京都環境局の「地球温暖化対策報告書制度」で使用されている排出係数を採用しました。

※1 資源受け入れ量は、本社工場と千葉工場への受け入れ量の合計です。

※2 社内エネルギー投入量は、ISO14001適用範囲である協力会社トライマテリアル株式会社の投入量を含みます。



## 中期環境保全計画

当社は、事業活動、製品、及びサービスが環境に与える影響の中で、重点テーマである省エネ・省資源、効率向上の達成すべき目標を環境保全計画として設定しております。

このページではISO14001の適用範囲（本社、本社工場、千葉工場及びトライマテリアル株式会社本社営業所）の67期環境目標・年度環境実行計画に基づくデータを掲載いたしました。

67期は燃料使用量が削減目標に届きませんでした。

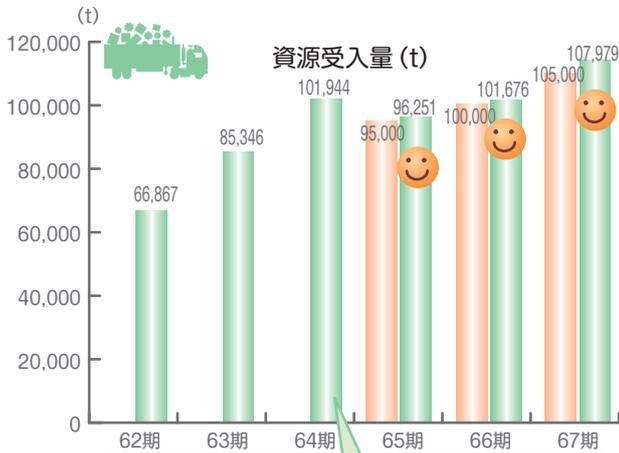
部門	67期目標			結果数値	達成度
	推進項目	施策	期末目標		
本社・本社工場・千葉工場	資源受入量の拡大	(1)仕入れ価格の適正化 (2)商品の在庫期間圧縮 (処理能力向上) (3)受入ヤードの整備 (処理能力向上) (4)仕入先の拡大(顧客拡大)	105,000t/年の達成	107,979t	対目標値よりも更に2.8%の拡大達成
	最終処分量の削減  リサイクル率(%)= [受入量(t)-最終処分量(t)] /受入量(t)]×100	(1)サーマルリサイクル処分先の拡大(最終処分の削減) (2)選別ラインの導入 (3)客先への選別徹底の提案 (4)再生処理品の拡大	98.5%の達成	100.0%	対目標値よりも1.5ポイントのリサイクル率向上
	コピー用紙使用量削減  コピー用紙使用量原単位= コピー用紙購入枚数(枚)/ [製品入荷量(千t)+出荷量(千t)]	(1)裏紙の使用徹底 (2)不要資料の作成削減 (3)配布資料及び配布先の適正化 (4)メール・電子化の推進 (5)棚卸し不用品資料の活用	1,300枚/千tの達成	1,217枚/千t	対目標値よりも更に6.4%の削減達成
本社工場・トライマテリアル(株)	燃料使用量削減(運搬車輛)  燃料使用量原単位= 燃料使用量(ℓ)/[製品入荷量(千t) +出荷量(千t)]	(1)アイドリングストップの励行 (2)アクセルの吹かし過ぎ防止 (3)効率的な積み降ろし・運搬 (4)車輛の定期点検・整備	817ℓ/千tの達成	847ℓ/千t	対目標値よりも3.7%の増加で目標に届かず
	燃料使用量削減(重機車輛)  燃料使用量原単位= 燃料使用量(ℓ)/[製品入荷量(千t) +出荷量(千t)]	(1)アイドリングストップの励行 (2)アクセルの吹かし過ぎ防止 (3)効率的な積み降ろし・運搬 (4)車輛の定期点検・整備	1,041ℓ/千tの達成	1,099ℓ/千t	対目標値よりも5.6%の増加で目標に届かず
千葉工場	電力使用量の削減  電力使用量原単位= 電力使用量(kwh)/投入量(t)	(1)破碎機の効率的運転 投入量拡大⇔破碎機負荷に低減 (2)定期的メンテナンスの実施 (3)デマンドコントローラー設置、及び活用	52.0kwh/tの達成	50.57kwh/千t	対目標値よりも更に2.8%の削減達成
	シュレッダー処理量の拡大  シュレッダー業務の効率化	(1)最適投入条件の設定・運用 (2)定期的メンテナンスの実施	23,100t/月平均の達成	29,103t/月平均	対目標値よりも更に26.0%の拡大達成



# 主な推進項目の予実績及びエネルギー投入量実績の推移

目標達成 😊 目標 実績

## 主な推進項目の予実績

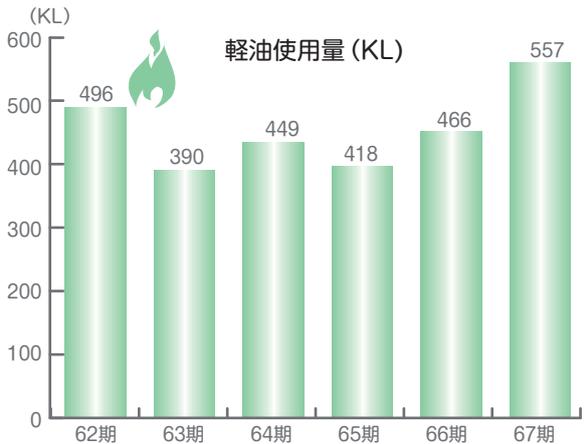
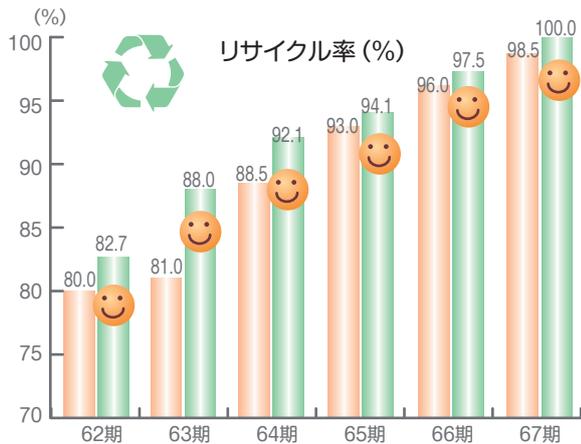


64期までは産業廃棄物を除く受入品目で目標量を設定していたが、65期からは産業廃棄物も含む全品目の総受入量で目標を設定した。このグラフは全品目の総受入量を表示している。

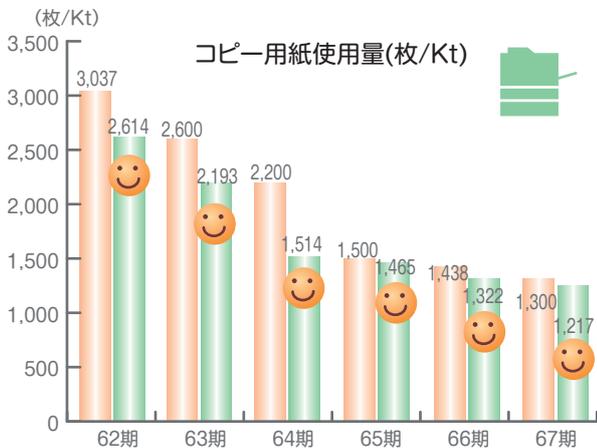
## 主なエネルギー投入量の実績 (全社)



66期は破砕機のリニューアル及び天童支店が加わり電力使用量は増加した。その後は受入量の増加等に伴い増加傾向にあります。



66期は天童支店が加わり車両用の軽油使用量が増加した。その後は受入量の増加等に伴い増加傾向にあります。



64期は千葉工場の稼働開始により急激に増加しました。その後は受入量の増加に伴い増加傾向にあります。



# マネジメント体制

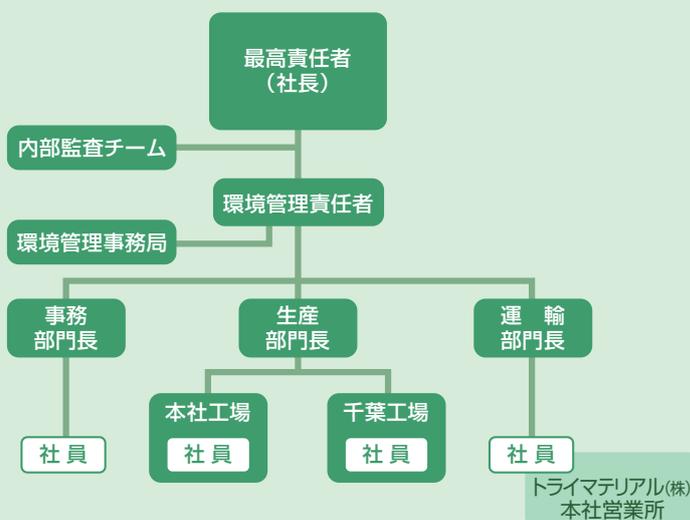
## 環境マネジメント体制

当社は、企業としての事業活動が環境に及ぼす影響を最小限に食い止め、改善に取り組むために、社長をトップとした環境マネジメントシステム ISO14001 の認証を取得しております。

Plan-Do-Check-Act により事業活動と関連する環境法規を明確にして、確実な順守に努めており、継続的な改善を目指しております。



## 推進体制



## 継続的改善

環境の継続的改善を目指して 2006 年 6 月に認定取得した ISO14001 は 6 年を経過しました。その環境方針に基づく行動指針を社員一人一人が常に認識し、事業活動、製品及びサービスに係る環境側面の継続的改善を図るとともに、適用可能な法的要求事項、及び自主的に受入を決めたその他要求事項を順守するために自主基準を設け、管理し、環境保全水準の向上を図ってまいります。

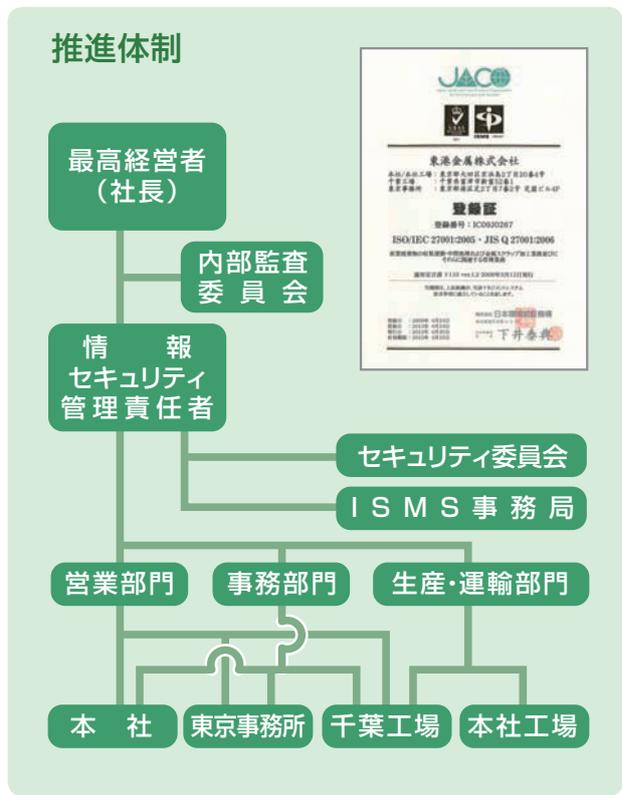


# 情報セキュリティマネジメント体制

ネット社会となり、僅かなミスによる情報漏えいが大きな被害に発展する危険性を抱えている状況下で、情報セキュリティの必要性がますます重要となっております。当社は、2009年4月に「情報セキュリティマネジメントシステム」ISO27001の認証取得をいたしておりますが、本年は取得後3年が過ぎましたので4月に登録継承の審査を受け、2015年4月までの認証を頂いております。

当社は「個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)」に対応し、顧客情報・顧客資産・従業員個人情報保護の責務を果たし、お客様の利益と社会全体の情報セキュリティを推進することが、重要な顧客サービスであると考え、情報セキュリティマネジメント体制を整え、定期的に当社が保有する全ての情報資産をリスク評価し、そのリスクに応じて、対策を実行しております。

お客様がかけがいのないパートナーとして、安心して当社をご利用いただけるよう、社員一人ひとりの意識向上を図るために、マネジメントシステムの構築、維持の、Plan - Do - Check - Actのプロセスを通じて、入社時研修をはじめ、定期的に意識の浸透を図り、推進してまいります。



## 情報セキュリティ基本方針

### 1. 目的と活動の原則

東港金属株式会社は、金属加工処理業ならびに産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を進めていく上で、顧客情報や処理を受託した機器の記録部の中に含まれている情報等の重要情報を保有している。

一方、事業の拡大に伴う本社事務所とヤード、他事業所、事務所等との情報伝達経路の多様化により、情報の漏洩、改ざん、センター機器や情報伝達経路の不具合による事業活動の遅滞や停止等の潜在的なリスクを有している。

情報セキュリティマネジメントシステム(以下ISMS)規格に準拠するISMSの構築、維持のPDCAプロセスを通じて、これらのリスクに対応する仕組みを確立することが当社の重要な顧客サービスとなることを認識し、従業員が丸となりISMSを実施し、顧客及び当社の継続的な事業発展のために、ここに情報セキュリティ基本方針を制定する。

### 2. 法令・規程・規則

顧客情報・顧客資産・従業員個人情報の保護の責務を果たすため法的要求事項、及び自主的に受入を決めたその他の要求事項を順守、管理する。

### 3. ISMS 組織体制の確立

事業の変化とそれに伴うリスクの変化に対して適切に対処するために、情報セキュリティ管理責任者を任命し、その下にセキュリティ委員会とISMS事務局を設ける。

また、ISMSのPDCAプロセスが適切に機能していることを評価する内部監査組織を設置する。

情報セキュリティ管理責任者とISMS事務局は、当社のISMS全般に亘る管理、運営を行う。

### 4. リスクへの対応

顧客情報と会計販売情報の機密性を最重要視する。これら情報の漏洩は当社の信頼性を著しく損ない、悪用されれば当社の事業継続に重大な影響を及ぼすと考えられる。

また、これら情報が集積しているサーバとその伝達経路の不具合は、業務遂行上の重大なリスクであり、完全性と可用性を考慮する。

なお、リスクマネジメントは、客観的に体系化され、重要なリスクを有効に見出す仕組みとして、継続的に見直しを行なえるものとする。

2008年12月1日  
東港金属株式会社  
代表取締役 福田 隆



# リサイクルフロー

## 本社工場リサイクルフロー

多品目の取り扱いと徹底した選別で、出来る限り資源として循環することを目指しております。

### 1. 収集運搬 / 搬入

廃棄物、混合物、有価金属などを、種類別・マテリアル別にわけることなく、窓口ひとつでの受入が可能です。



平ボディー車



台貫



### 2. 分別 / 解体

大型廃棄物から鉄、非鉄、プラスチックまで分解・選別することができるマルチ解体機や、大型磁力選別機と手作業により徹底した分解、仕分けを行います。



マルチ解体機での解体



パソコン/OA 機器の手解体



### 3. 破碎

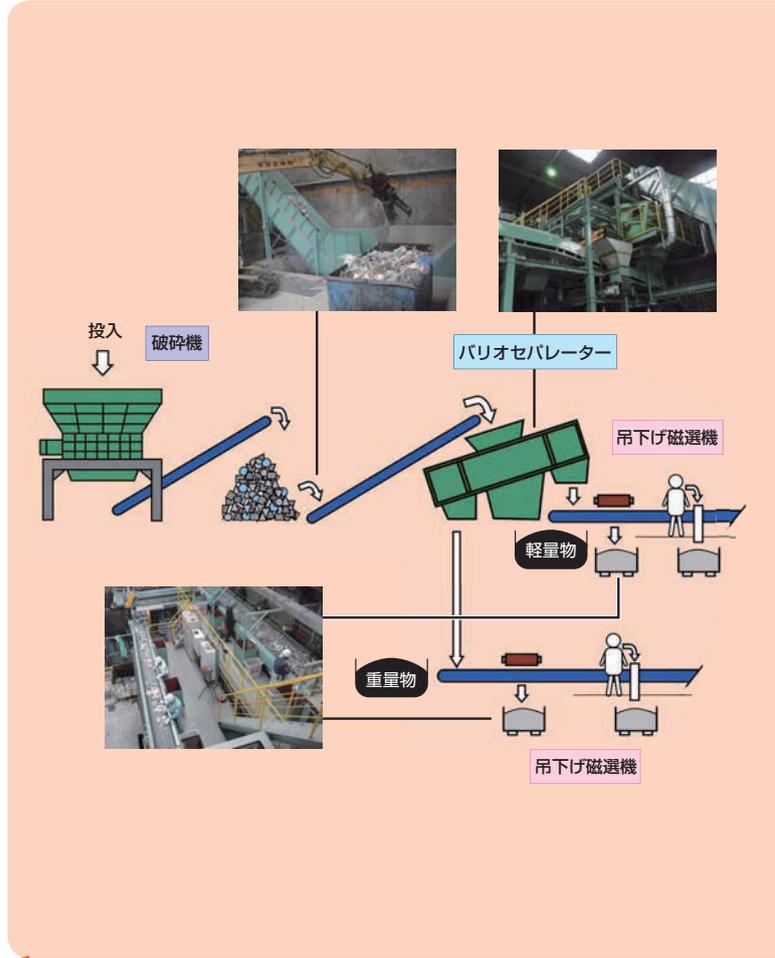
最新鋭高速切断機〔ギロチンシャー〕の導入をはじめ、複数の破碎機やジャンボプレスベラー、天井クレーンを刷新し、作業効率と処理スピードの向上を実現させ、さらに、ヤード内のレイアウトに配慮し、作業のオートメーション化を実現しました。



破碎機



ギロチンシャー



### 遣り甲斐のある仕事と思っております

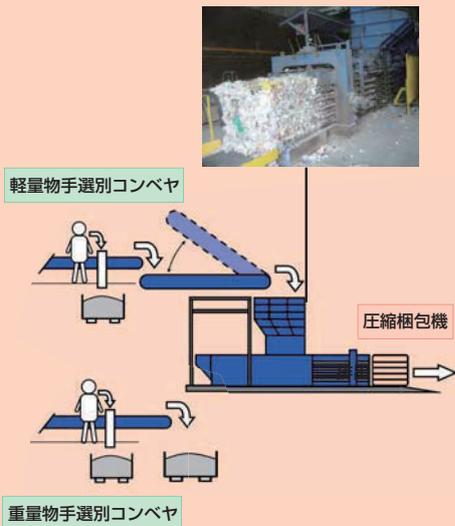
当社の出荷担当として、有価製品の売却先や産廃の二次排出先との窓口役を担っております。売却物である鉄や非鉄金属は日々の価格変動に速やかに対応しなければなりませんので、気の休まる時がありませんが遣り甲斐のある仕事と思っております。



営業部 多田 和広



## 選別ラインフロー図



### 4. 圧縮 / 梱包

鉄、ステンレス、銅、アルミ、プラスチック、基板、その他をそれぞれ圧縮梱包していきます。



ベラー



プレス機



再生プラ原料 (PET)



アルミ

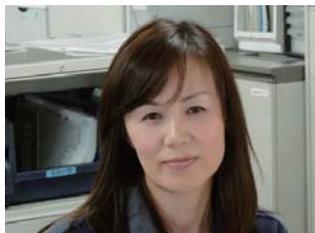
### 5. 適正処理

マテリアルリサイクル及びサーマルリサイクル向けの原料化を可能な限り促進し、リサイクル率の向上と適正処理を実現しております。

(例 プラスチックフレーク、プラスチック燃料、木くずチップ、銅系再生合金原料、電線ナゲット銅、再生銅原料、紙原料、カレットなど)

### 笑顔での対応に心掛けております

お客様が窓口にいっぱいます。台貫が終了するとマニフェストの返却・現金精算を行います。正確・迅速に対応する事と共に、いつも忙しく都内を走り回っている収運業者様に当社の窓口が少しでもホッといただける場所になるよう日頃から笑顔での対応に心掛けております。



営業部 管理課 石川幸子

### 品質向上に努めております

千葉工場は1千馬力の大型シュレッダーを中心とした工場ですが、細かなところでは常に整理整頓をモットーとして作業をしております。また、製品の品質向上がお客様のご要望に応えることと思ひ作業をしております。

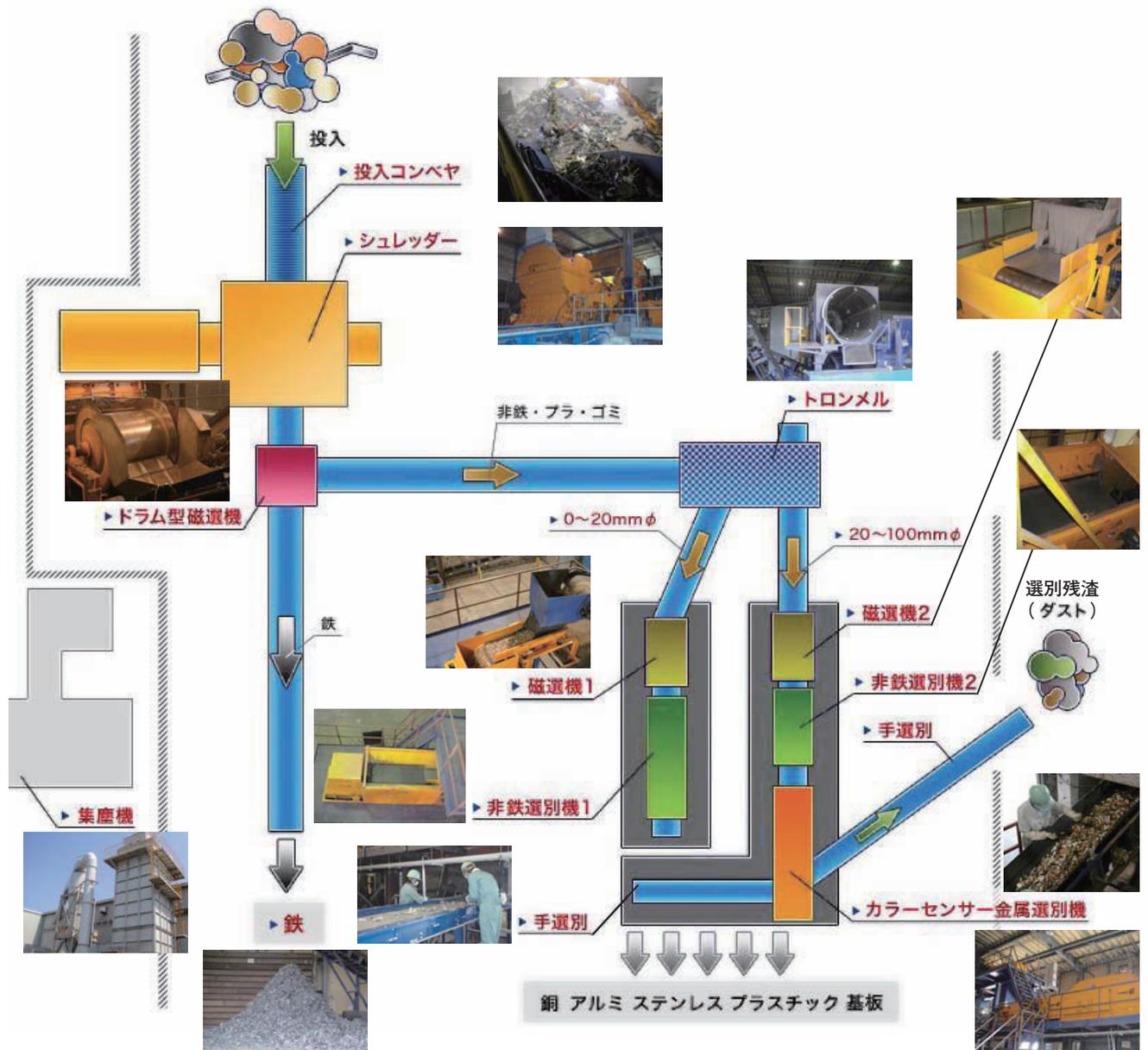


千葉工場 川崎智和



## 千葉工場 破碎・選別工程フロー

千葉工場のリサイクルフローでは、破碎と選別工程に最新鋭の設備を導入しております。破碎には1千馬力のシュレッダーを導入し、シュレッダーで破碎した後は、磁選機・カラー選別機・手選別により、鉄・各非鉄・その他に選別し、後工程の圧縮梱包 / 適正処理の工程に移ります。



### 設備仕様

設備名	製作会社国名	処理能力、特性等 (カタログより)
シュレッダー	ドイツ	30t/ H、千馬力の大型破碎機
トロンメル	日本	0 ~ 20mmφ、20 ~ 100mmφと 100mmφ以上を分離する、円筒型の回転ふるい装置
ドラム型磁選機	ドイツ	磁力により混合物の中から鉄を分離する磁力選別機形状や取り付け方により名称が変わる
磁選機	ドイツ	
非鉄選別機	ドイツ	鉄と非鉄を分離するために渦電流を利用した選別機
カラーセンサー金属選別機	ドイツ	対象物の色を取り込み素材を特定して選別する装置
集塵機	日本	電気式と濾布式の組合せ型



# 教育・コミュニケーション

## 工場見学会

従業員のご家族の方々に工場を見学に来ていただき、いろいろなリサイクルの現場を体験していただきました。

話では、聞いていたものの、初めて会社を見学させていただいて、改めて大変な仕事だと思いました。私たちが、簡単に口にしてはいるリサイクルですが、自分の目で見たことで改めて、その大変さを感じました。

環境について問われる中、私たちの子供世代のために少しでも多くの物をリサイクルすることの必要性と、そして、そのリサイクルのために働く人々のことを分かってもらうためには、この度の私たちと同じような工場見学を、一般の方々には社会見学として、子供たちには学校授業の一環として参加する機会があれば、一人一人が何か感じ、リサイクルについて思い改められる事が多いのではないかと思います。奥様

自分の仕事とは、違う職種というは知っていましたが、想像と違い、大きな会社で多くのヤードで仕事をしているのを改めて理解しました。

もしかしたら、自分の会社から出た物も来ているのでは？と少し思った。 社会人1年 大地さん

ペットボトルや缶がリサイクルされていることは知っていましたが、ベッドのバネやエアコンやロッカーなどもリサイクルされていることは知らなかった。

ゴミのほとんどがリサイクルされていることを知ったけど、それでもこんなに沢山のゴミが排出されているなんて少しショックだった。

リサイクルされなかったゴミは埋められてしまうとの話でしたが、これがずっと続いていけば、埋めるところもなくなってしまったら怖くなった。 大学生 さあやさん

いろいろな金ぞくの種類のがよくわかって勉強になった。リサイクルしてくれてお金になる物とならない物のちがいが少しわかった。

お父さんの仕事はどれだけでもそがしいがわかった。

小5 風磨君

いろんな会社から出たゴミが、お父さんの会社を集められ、それをリサイクルしていることが分かった。

ゴミの中から、自分が思っていたよりも高い率でリサイクルできると知り少しビックリしました。

高1 萌加さん

パパってこんな仕事をしてたんだ。大きな働く車がいっぱいあって楽しかった。

4才 星瑠君より

お父さんの会社の仕事は主にリサイクルであるということがわかった。リサイクルできる物とできない物があることは知っていたが、あんなに多くの物がリサイクルできるとは知らなかった。

一つでは安い物でも、たくさん集まるととても高いお金になることがわかって良かったです。想像していたより大変な仕事ということがわかった。

中1 空君

トライマテリアル株式会社社長で東港金属株式会社の営業部を兼務する山本さんは子沢山のおとうさんです。

パパはリサイクルの仕事をしていると知っているけど、リサイクルってどんなことしてるの？とのお子さんの疑問に答えるため、家族で工場見学に参加しました。

考えていた以上に大変な仕事にびっくりしながらも、お父さんは環境に大切な仕事をしているのだと、ちょっと誇りにも思ったようです。

当社は社員の家族を含めステークホルダーの方々に当社の仕事を理解していただけるよう、工場見学をお受けしております。



## 環境教育

安全衛生を自らが管理し、お互いに気持ちよく、安心して仕事ができるための「安全衛生委員会」と、従業員全体を対象とし環境教育を含めた「職場安全衛生環境会議」等を定期的開催し、問題の掘り起こしと対策を講じることで皆が同じ意識を共有できるようにしております。



## 地域美化活動

地域の環境保全を維持し、近隣の皆様、来社されるお客様が気持ちよく来社していただけるよう、毎朝、周辺道路及び入口通路の美化清掃を行っています。



## MVP 表彰

当社では、その月々の作業姿勢やマナーなど担当職務に優れたメンバーを上司が推薦し、月間 MVP や年間 MVP として表彰し、各人が仕事への意欲と誇りを持てるような職場づくりを目指しております。



千葉年間MVP賞  
渡辺 隆幸

今後も千葉工場全員で生産効率UPを目指しがんばります。



本社年間MVP賞  
川村 真悦

これからも、事故のないように気をつけて仕事にがんばります。

## 「羅針盤」発行

産業廃棄物処理業界の相場状況及び改正された法律の内容紹介などの参考情報や東港金属のトピックスを「羅針盤」というニュース紙として毎月発行しています。この情報はそのままホームページにも掲載中です。



<http://www.tokometal.co.jp/>

## 石平専務執行役が優良従事者表彰を受けました

東京産業廃棄物協会より平成24年度の優良従事者として、多年に亘り産業廃棄物の処理に精励し業界の発展に寄与するところが多大であるとして表彰されました。



石平さんは当社が、非鉄金属のスクラップを扱っていた時から従事しており、金属に関する造詣が深くその柔和な人柄で後任の指導に努めております。

東港金属は今年110周年を向かえ、私は勤めて50年を過ぎました。入社当時の東港金属は非鉄金属のスクラップ加工が主でした。今では、この時代に得た知識が、平成6年に産廃処理の許可を取得しスクラップと産廃の両方を扱いことになってからも役に立っており、大変有り難いことと思っております。



## 東港金属は、(財)日本自転車競技連盟 (JCF) のオフィシャルスポンサーです。

自転車の動力は、脚力エンジン。

人力がレースを作用する自転車は環境にやさしく、環境関連企業として東港金属は日本ナショナルチームを応援してまいります。

以下の写真は、2012年10月21日 栃木県宇都宮市で開催された「2012JAPAN CUP CYCLE ROAD RACE」での撮影です。



写真提供: (財)日本自転車競技連盟(JCF)

## 資格取得を推奨しています

従業員が其々の担当業務をこなしていく上で必要な知識や技能習得のために、資格取得を推奨しております。

2012年10月15日現在

資格名	人数	資格名	人数
破砕・リサイクル施工技術管理士	2	ガス溶接	4
産業廃棄物または特別管理産業廃棄物の許可申請に対する講習会(許可)	6	天上クレーン	1
産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(収集運搬)	7	5t未満クレーン	10
安全衛生責任者	1	床上操作クレーン	1
安全管理者	1	移動式クレーン	2
安全衛生研修会	1	小型移動式クレーン	13
安全衛生特別教育規定講習	1	整備管理	1
職長教育	2	第二種電気工事士	1
危険物取扱者	1	高所作業	1
運行管理者	1	はい作業	1
防火管理者	1	PCB 廃棄物の収集運搬業作業従事者講習	1
上級救命技師	1	冷媒回収技能者登録	3
救命技師	2	バックホーン	1
セーフティインストラクター	1	粉じん	1
統括安全衛生責任者	1	ISO14001 内部監査	2
衛生管理者	1	ISO27001 内部監査	2
中型免許	66	型枠支保工の組立等作業主任者	1
大型免許	11	地山の掘削作業主任者	1
大型特殊免許	3	土止め支保工作業主任者技能講習	2
フォークリフト	31	ダイオキシンインストラクター	1
車両系建設機械	19	酸素欠乏・硫化水素危険作業	1
玉掛	19	食品衛生管理者	1
牽引	2	機械製図作業	1
アーク溶接	5	不整地運搬車	1



# 環境への取り組み

## 優良産廃処理業者認定制度、産廃エキスパート認定 (環境先進企業として、一段上の基準をクリアしました)

優良産廃処理業者認定制度において、東京都から処分業、収運業共に優良確認認定を受けました。また収運業の許可を取得している大部分の県より優良確認認定を受けております。

東京都独自の産廃エキスパート認定制度においては、一昨年に続き、産廃エキスパート適合の認定を受けております。これらの制度の趣旨を真摯に受け止めて、排出事業者の皆様から信頼されるリサイクルパートナーとしての努力を続けて参ります。

### 優良産廃処理業者認定証



処分業

収運業

### 産廃エキスパート認定証



### ◆優良産廃業者認定制度概要

廃棄物処理法に基づき、通常の許可基準よりも厳しい基準をクリアした優良な産廃処理業者を、都道府県・政令市が審査して認定する制度

#### ・主な優良基準

- \*実績と遵法性 : 5年以上の産業廃棄物処理実績。遵法性の高い処理業者
- \*事業の透明性 : インターネットで会社情報を広く公表
- \*環境配慮の取組 : ISO14001やエコアクション21等の認証を取得
- \*電子マニフェスト使用
- \*財務体質の健全性 : 健全な財務体質で、安定的に事業を行っている

### ◆廃棄エキスパート認定制度概要

東京都が、産業廃棄物処理業者の事業内容や取組の状況に対応し、認定する制度(ページ19参照)

- 産廃エキスパート (業界のトップランナー的業者)
- 産廃プロフェッショナル(業界の中核的役割を担う優良業者)
- \*処理事業の信頼度の高さ、環境に配慮したより高度な取り組みを総合的に評価
- \*第三者評価機関(東京都環境公社)が評価基準を定めている

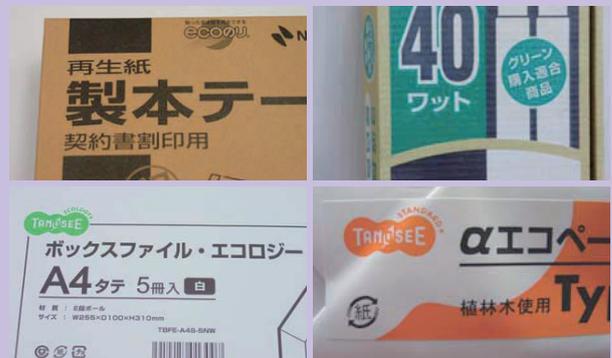
### 特定フロンの回収をしています

当社は、東京都にフロン回収業者として登録をし、産業廃棄物として搬入された業務用のエアコンや冷蔵庫の中に入っている冷媒用フロンを適正に回収し、破壊処理業者に引き渡しております。大気中に放出されるとオゾン層破壊や地球温暖化などを起こす一因となるフロンを正しく処理することで、フロン回収・破壊法に対応して参ります。



### グリーン購入から環境配慮

社内の物品調達については、共有使用できるものや、リユースできるものの再使用をすすめ、品質や価格だけでなく、グリーン購入の考えに則した環境負荷低減に資する製品を積極的に使用することとしております。



### 5S・社内活動

職場環境の維持、作業効率向上、そして社員全体の意識向上を図る目的に、5S (整理・整頓・清掃・清潔・躰) 活動、その他の社内活動を推進中です。

具体的には、委員を中心に月に一度のミーティングを通じ、改善策・成果を検討しております。



## 防災訓練

安全がすべての作業に優先しますので、毎日の朝礼で意識づけをしております。  
特に地震、火災等緊急時対応に備えて、本社工場、千葉工場共に初期消火活動、応急救護を含めた防災訓練を毎月実施しています。



## 環境調査

当社は環境方針に則り、事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めるため、本社工場と千葉工場で、業務に伴って発生する騒音・振動・悪臭・粉じんと、構内から排出される雨水中の含有物質を自主的に測定しております。下記に示すように今事業期の測定では自主基準値内でした。

今後とも環境保全水準の向上を図るために小さな問題点も見逃さず処置対応をして、周辺環境の保全に努めてまいります。環境調査結果概要版はホームページに公開いたしております。



## 平成 23 年度東港金属株式会社環境調査結果（騒音・振動・悪臭・粉じん・雨水）

調査実施機関 株式会社環境総合研究所【計量証明登録 濃度第 592 号、音第 7 号、振動 1 号】  
調査期日 本社工場：2011 年 11 月 28 日（粉じんのみ 12 月 16 日） 千葉工場：2011 年 12 月 19 日  
調査方法：当該地域を規制する条例等の調査方法を採用（詳細はホームページを参照ください）  
調査結果：適否の欄の記号は次のとおり。 ○：規制基準を満足 ×：規制基準を超過

1. 騒音レベル	調査場所	調査位置	調査時間	調査結果(騒音レベル)	適否	規制基準
	本社工場	破砕機近傍敷地境界	9:30~9:40	69dB	○	70dB(参考)
	千葉工場	敷地境界(南)	9:40~9:50	66dB	○	70dB
注) 本社工場：工業専用地域であり、規制基準の適用はされない地域であるため、規制基準は参考。						
2. 振動レベル	調査場所	調査位置	調査時間	調査結果(振動レベル)	適否	規制基準
	本社工場	破砕機近傍敷地境界	9:30~9:40	47dB	○	65dB(参考)
	千葉工場	敷地境界(南)	9:40~9:50	48dB	○	65dB
注) 本社工場：工業専用地域であり、規制基準の適用はされない地域であるため、規制基準は参考。						
3. 悪臭	調査場所	調査位置	調査時間	調査結果(臭気指数)	適否	規制基準
	本社工場	敷地境界(東)	10:45	<10	○	13
		敷地境界(北)	10:58	<10	○	13
	千葉工場	敷地境界(北)	10:30	<10	○	13(参考)
		敷地境界(南)	10:40	<10	○	13(参考)
注) 千葉工場：富津市は臭気物質規制であり、臭気規制値はまだ規定されていないため、規制基準は参考。						
4. 粉じん	調査場所	調査位置	調査時間	調査結果(総粉じん)	適否	環境基準(参考)
	本社工場	敷地境界(東)	9:00~13:00	0.042mg/m <sup>3</sup>	○	0.2mg/m <sup>3</sup>
	千葉工場	敷地境界(南)	9:30~13:30	0.177mg/m <sup>3</sup>	○	0.2mg/m <sup>3</sup>
注) 施設から発生する粉じん濃度には規制基準は存在しないため、参考までに一般地域に適用される環境基準(浮遊粒子状物質の時間最大値0.2mg/m <sup>3</sup> )と比較した。						

### 5. 雨水排水

当社は2011年11月28日、千葉工場は同年12月19日に「下水の水質の検定方法等に関する省令(昭和37年厚・建令1)」に基づき、下記43項目について調査を実施。全ての項目で下水基準値を満足しておりました。

#### 調査項目:

カドミウム、全シアン、有機炭、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ホウ素、フッ素、全クロム、銅、亜鉛、フェノール、溶解性鉄、溶解性マンガン、BOD、SS、n-ヘキサン(鉱油)、n-ヘキサン(動植物油)、全窒素、全リン、水素イオン濃度(pH)、温度、酸素消費量、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、アンモニア性窒素



# 協力会社の活動

## トライマテリアル株式会社の紹介

トライマテリアル株式会社は、東港金属関連の輸送業務及び産業廃棄物の収集運搬を請け負う協力会社として平成18年に創業し、今年は7年目となりました。搬入先の東港金属が都心にある産業廃棄物の中間処理場ですので、お客様の収集希望時間も多様なため、24時間の対応も可能としております。

収運業は、常に交通事故の危険性と隣り合わせの業務でありますことから、お客様から委託された産業廃棄物を「安全第一、確実に運ぶこと」を社是として業務を推進しております。

日々の運行管理は、過重、過載、作業時間の無理が無いように、道交法違反についても研修会、朝礼等で啓発しておりますが、ドライバーにはアルコールチェックで呼気の数値による社内ルールを徹底し、また、想定外の事故を未然に防ぐための指導を続けております。



山本社長

## 会社概要

社名 トライマテリアル株式会社  
 代表者 代表取締役社長 山本 兼嗣  
 設立 2006年(平成18年) 1月  
 資本金 1,000万円  
 従業員数 19名(2012年6月末日現在)  
 年商 約2.4億円(2011年12月期)  
 事務所 本社及び本社営業所  
 東京都大田区京浜島2-19-10  
<http://www.trimaterial.co.jp/>  
 主な取引先 東港金属株式会社

## 事業内容

- \* 鉄鋼、ステンレス、プラスチック、アルミニウム、銅等非鉄金属製品及びスクラップの加工処理並びに売買
- \* 産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬業
- \* 廃プラスチックのリサイクル事業
- \* 一般貨物自動車運送事業
- \* 貨物運送取扱事業
- \* 軽油及びガソリン販売業
- \* 労働者派遣法に基づく特定労働者派遣事業



## 沿革

- 2006年(平成18年)  
 1月 東京都中央区に一般貨物自動車運送事業、産業廃棄物収集運搬業及び特定労働者派遣事業を目的として設立  
 東京都大田区京浜島に東京営業所を設立  
 3月 特定労働者派遣事業許可  
 6月 一般貨物自動車運送事業許可  
 7月 各地の産業廃棄物収集運搬業許可取得開始
- 2008年(平成20年)  
 3月 東京都港区に本社移転
- 2009年(平成21年)  
 7月 ISO14001 本社営業所で認証取得(東港金属株式会社と合同認証)
- 2010年(平成22年)  
 2月 東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃プロフェッショナル」の認定取得
- 2011年(平成23年)  
 12月 東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃エキスパート」の認定取得
- 2012年(平成24年)  
 3月 東京都及び千葉県で特別管理産業廃棄物収集運搬の優良認定取得  
 11月 東京都大田区に本社移転

## 東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃エキスパート」の認定を受けました。

東京都の優良性基準適合認定制度とは、平成21年10月に都が全国で初めて創設した、産業廃棄物処理業者の第三者評価制度。産業廃棄物処理業者の任意の申請に基づき、適正処理、資源化及び環境に与える負荷の少ない取組を行っている優良な業者を、第三者評価機関として都が指定した(財)東京都環境整備公社が評価・認定する制度です。

2010年2月に、業界の中核的役割を担う優良業者としての基準に適合しているとして、「産廃プロフェッショナル」(第二種評価基準適合業者)の評価認定をいただ



りましたが、今年度は、業界のトップランナー的業者として「産廃エキスパート」(第一種評価基準適合業者)の評価認定を頂きました。

この評価の意義はまた、重大な責任も科せられものと真摯に受け止めて、更に皆様のお役に立つ会社として事業を進めて参ります。



## Topics

### 年間 MVP 表彰

年間を通して、安全運転、効率を考えた運行に努め当社の業績向上に大きく貢献しました。



ベストドライバー  
岩瀬 陽一

ありがとうございます。

これからも  
無事故・無違反  
でがんばります。

東港金属株式会社と同様に、月間、年間の MVP を選出し表彰しております。

## 社員資格一覧表

2012年10月15日現在

資格区分	人数
特管産廃の許可申請に関する講習会	1
産業廃棄物処理業者講習会	1
衛生管理者	1
労働安全法による技能講習	1
救命技能認定書	1
運行管理者(含 補助者、指導講習)	4
中型自動車	21
大型自動車	21
大型特殊免許	2
牽引	9
玉掛	10
フォークリフト	17
車両系建設機械	7
床上クレーン(5t未満)	3
小型クレーン	6
高所作業者	2
ガス溶接	4
アーク溶接の業務	1
電気工事士	1
低圧電気取扱	1
職長教育	1
危険物取扱者	2
石綿使用建築物解体業務特別教育	1
ISO14001 内部監査	1

## 産業廃棄物収集可能エリア（東港金属株式会社又はトライマテリアル）

平成24年11月1日時点

	産業廃棄物												特別管理産業廃棄物				
	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	廃酸PH2.0以下	廃アルカリPH12.5以上	廃石綿等	廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限る)
東京都	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埼玉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
群馬県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
栃木県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
茨城県	○	○			○	○	○	○			○	○	○				
長野県	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○				
岩手県					○	○	○	○			○	○	○				
福島県					○	○	○	○			○	○	○				
静岡県					○		○				○	○	○				





# 法的およびその他の要求事項

環境及び情報セキュリティの法規制で当社及びトライマテリアル株式会社に係る主なものは以下の通りです。第67期で行政より指導・勧告を受けたものはありませんでした。

## 環境関連

環境側面	法、条例、等	要求事項(当社該当主要項目のみ)	主な該当施設等	主な該当部署	必用資格	
自動車運行	道路交通法 NOx-PM法	①自動車免許、速度制限、積載制限 ②規制対応車種 ③PM減少装置の取り付け	運搬車輛・自家用車	運輸部門・営業部門	大型・普通免許	
[業] *廃棄物の受入 *収集運搬及び処分業	金属屑、廃プラスチック、ガラス・コンクリート・陶磁器屑、繊維屑、木屑、紙屑、他	①廃棄物再生業/廃棄物の収集運搬及び処分業の許可 ②廃棄物の保管施設への掲示板の設置 ③委託基準の順守 ④マニフェストの使用及び返却等の管理 ⑤廃棄物処理責任者の設置 ⑥二社契約許可番号、事業の範囲、有効期限、処理能力、重量、単価等の記載 ⑦産廃最終処分業者の処分場視察 ⑧環境に不可を与えない施設の維持管理 ⑨資源化を推進し、最終処分量の削減 ⑩地域住民との協調	業として被処理物の受け入れ	全体	収集運搬業 中間処理業 古物商	
[事業者] 廃棄物の排出	産業廃棄物の排出		業務全般からの排出			
[事業者] 廃家電等電気製品の排出	特定家庭用機器廃棄物、パソコン他	家電リサイクル法 改正リサイクル法		事務部門	—	
トラックスケールの使用	トラックスケール	計量法	トラックスケール台買計量誤差検定 1回/2年 検査	トラックスケール (20t-40t-50t)	生産部門	—
火災の発生	指定可燃物	消防法	指定可燃物貯蔵量調査	工場棟及び 工場内設備	生産部門	—
フロン類の回収	業務用空調機・業務用冷蔵庫からフロン回収	フロン回収破壊法 改正フロン回収破壊法	東京都知事による登録 適正回収、行程管理制度、引取証明書の交付	フロン回収 設備等	生産部門 営業部門	第一種フロン類 回収業者登録
材料およびエネルギーの使用を物品の購入時に考慮	物品の購入	グリーン購入法	グリーン調達を推進し、環境に与える負荷を軽減する	事務所	事務部門	—

## 情報セキュリティ関連

関連分野	法令の名称	主な参考条項
情報保護に関する法令	日本国憲法 個人情報の保護に関する法律	第21条2 集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。検閲は、これをしてはならない。通信の秘密は、これを侵してはならない。 全般
コンピュータ犯罪に関する法令	刑法 不正アクセス行為の禁止に関する法律 労働基準法 労働者派遣法	第7条の2 電磁的記録の定義 第157条第1項 電磁的公正証書原本不実記録罪 第158条第1項 不実記録電磁的公正証書原本共用罪 第161条の2 電磁的記録不正作出・不正作出電磁的記録供用罪 第234条の2 電子計算機損壊等業務妨害罪 第246条の2 電子計算機使用詐欺罪 第258条 公用電磁記録毀棄罪 第259条 私人電磁記録毀棄罪 全般 第91条 制裁規定の制限 第24条の4 秘密を守る義務
知的財産権に関する法令	著作権法 特許法 意匠法 不正競争防止法 知的財産基本法	第2条 定義 第10条 著作物の例示 第12条の2 データベースの著作物 第20条 同一性保持権 第47条の2 プログラムの著作物の複製物の所有者による複製等 第76条の2 創作年月日の登録 第113条 侵害とみなす行為 全般 全般 全般 第8条 事業者の責務
その他	特定電子メールの送信の適正化等に関する法律 外国為替及び外国貿易法	全般 全般

## 環境会計

当社としての環境会計の算出方法を模索しておりますが、当社の本業が環境活動そのものであるため、平成12年3月の環境庁「環境会計システムの確立に向けて(2000年3月)」に記載されておりますように、環境保全コストの把握に関しては今後の課題とさせていただきます。

### <参考>

「本業として環境ビジネス(公害防止装置の製造、環境コンサルタント、廃棄物処理・リサイクル事業等)に取り組む場合の環境保全コストの把握(測定)に関しては、困難な問題が多く残されていますが、原則として、本業として取り組む環境ビジネスに関するコストは環境保全コストには含まれないと考えられます。ただし、企業等において独自の算出方法を考案されている場合は、その方法を明示した上で、把握(測定)・公表することを妨げるものではありません。この問題については今後の課題とさせていただきます。」

平成12年3月環境庁環境会計システムの確立に関する検討会「環境会計システムの確立に向けて(2000年3月)」より抜粋



# ガイドライン対照表

環境報告書ガイドライン 2012 年版

掲載ページ

【環境報告の基本的事項】	
1. 報告にあたっての基本的要件	
(1) 対象組織の範囲・対象期間	3
(2) 対象範囲の捕捉率と対象期間の差異	3
(3) 報告方針	3
(4) 公表媒体の方針等	3
2. 経営責任者の諸言	2
3. 環境報告の概要	
(1) 環境配慮経営等の概要	2.5
(2) KPI の時系列一覧	4.6.7.8
(3) 個別の環境課題に関する対応統括	5.6.7.8.9.17.18
4. マテリアルバランス	6
【「環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況」を表す情報・指標】	
1. 環境配慮の方針、ビジョン及び事業戦略等	
(1) 環境配慮の方針	5
(2) 重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	5.7
2. 組織体制及びガバナンスの状況	
(1) 環境配慮経営の組織体制等	9
(2) 環境リスクマネジメント体制	9
(3) 環境に関する規制等の遵守状況	21
3. ステークホルダーへの対応の状況	
(1) ステークホルダーへの対応	2.14.15.16
(2) 環境に関する社会貢献活動等	2.15.16
4. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況	
(1) バリューチェーンにおける環境配慮の取組方針、戦略等	5.7
(2) グリーン購入・調達	17
(3) 環境負荷低減に資する製品・サービス等	11.12.13
(4) 環境関連の新技术・研究開発	11.12.13
(5) 環境に配慮した輸送	5.6.7.8.19
(6) 環境に配慮した資源・不動産開発／投資等	6.11.12.13.18
(7) 環境に配慮した廃棄物処理／リサイクル	4.6.11.12.13.18
【「事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況」を表す情報・指標】	
各記載項目の共通事項	5.6.7.8.21
1. 資源・エネルギーの投入の状況	
(1) 総エネルギー投入量及びその低減対策	6.7.8
(2) 総物質投入量及びその低減対策	6.7.8
(3) 水資源投入量及びその低減対策	6.8
2. 資源等の循環的利用の状況（事業エリア内）	6.7.8
3. 生産物・環境負荷の産出・排出等の状況	
(1) 総製品生産量又は総商品販売量等	4.6
(2) 温室効果ガスの排出量及びその低減対策	6.7.8
(3) 総排水量及びその低減対策	6.8
(4) 大気汚染、生産環境に係る負荷量及びその低減対策	6.7.8.17.18
(5) 化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	6.17
(6) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	4.6.7.8
(7) 有害物質等の漏出量及びその防止対策	17.18
4. 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	—
【「環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況」を表す情報・指標】	
1. 環境配慮経営の経済的側面に関する状況	
(1) 事業者における経済的側面の状況	21
(2) 社会における経済的側面の状況	21
2. 環境配慮経営の社会的側面に関する状況	2.15.16
【その他の記載事項等】	
1. 後発事象等	
(1) 後発事象	3.5
(2) 臨時的事象	—
2. 環境情報の第三者審査等	—

**Toko Metal**  
Multi Material Recycler

